

地域に責任を
持つ組織へ

1万人との対話運動をすすめ、2020年 2000名会員を目指す



自前のタイガーマスク衣装で「安倍農政を斬る」
南会津の皆さん。次回も期待してます



過去最大の代議員数で開催され、活発な討論がされました。新たな峰を目指します。



生業原告団事務局長の服部浩之さんに今後の
裁判の方針を発言していただきました。



橋本信男さんに穂波のあったか家族の写真を贈呈。



嶋原孫一さんの発言、
みんなの協力で二本松市長選挙勝利できた



市民と野党の共同で衆議院選挙を勝ち抜いた金子恵美
議員。自らも農民として農林水産委員で頑張っていく。

福島県農民連は、世界の流れである家族農業と協同組合を生かし、食料主権の確立を目指している。安倍政権は世界で一番企業が活躍する国を目指し、農村・農業における重要な所得補償や各種制度を「岩盤」と決めつけ攻撃し、最後の仕上げを私たちに仕掛けてきている。私たちはこれに對抗し、食糧安定供給と豊かな農村作りに責任をもつ運動を展開するため、福島県内7万農家を対象に1万人との対話運動をすすめる。

相手の話を聞き、署名を訴え、農民連への加入を勧め、2020年に2000名の会員拡大を目標とすることが総会で確認された。
来賓には民進党の参議院議員増子輝彦さん、衆議院議員金子恵美さん、日本共産党の参議院議員岩淵友さんをはじめ多くの方々からご挨拶をいただいた。金子恵美議員からは、市民と野党で勝ち取った議席を福島の農業復興に必ず役立てたいと挨拶をいただいた。

農民の要求課題、組織拡大への 発言が多数報告

安達地方農民連 嶋原 孫一さん

妻が農民連に入り野菜出荷や税金でがんばっていた。自分も地域のために何かやりたいと考えていた矢先に原発事故が起こった。東電前でマイクを握って福島県産きゅうりの価格暴落など、被害を訴えた。みんなの団結力を活かす農民連という働く場所ができた。
今年の二本松市長選挙でもみんなの会や農民連で団結をして勝つことができた。特に女性の力がすごかった。「私も手伝いたい」と声が上がって、炊き出しが何力所でも準備された。ここでの集まりが勝利につながったと思う。「やらなければ、やりたい、勝ちたい」という気持ちみんなに伝わっていった。

県北農民連 渡辺 靖さん

ぶどうの低農薬栽培に3年間取り組んできた。葉面散布剤など新しい資材を使うことで、葉の厚みや形などが良くなり、品質も良くなってきた。新たな販路もでき、自分で納得のいく値段をつける事ができるようになった。農薬の散布回数は一緒だが、散布濃度を半分にすることができている。まだ一部の取り組みがみんなにも取り込んでほしいと思っている。

安達地方農民連 菅野まゆみさん

長年の夢だった農家民宿を始めることができた。大学生や企業研修など様々な方に来ていただいている。テレビは置いていないので、みんなでいろんな話をし、地元の食材でもてなしている。65歳で退職された方は「大勢で食事して、大笑いしたのは久しぶりだ」と話してくれた。野菜料理だがみんな満足してくれる。小学生は畑での収穫や沢力二取りが楽しくて、泣いて帰りたいと言っている。農村の魅力を伝えることが、女性が活躍する機会にもなっている。

須賀川農民連 小椋 孝行さん

会員を増やし、米の集荷量を増やすとともに、米小売店訪問を毎年続けてきた。原発事故後は風評被害により福島県産米を販売している小売店は少なかったが、今年の訪問先では店頭で販売してくれており、大変うれしかった。今年からは若手生産者に小売店を訪問してもらったが、相手先からは「後継者がいて須賀川農民連は安泰だね」と声をかけてもらった。常に若手を育てよう意識している。

郡山地方農民連 平 克彦さん

春の大運動期間に三春町貝沼地区でチラシ配布と合わせて農家全戸訪問を行った。2人組5班に分かれて訪問し、農民連の紹介と学習会の案内を行う。この行動で加入した会員が、今年は別の農家を紹介してくれる。行動に参加した会員からは、「みんなできると楽しい、こういう活動は久しぶりだ」と感想も出され、組織的な会員拡大を体感することに役立っている。

来賓として ご挨拶いただきました。

- | | |
|-----------|---------|
| ・衆議院議員 | 金子 恵美 氏 |
| ・参議院議員 | 増子 輝彦 氏 |
| ・参議院議員 | 岩淵 友 氏 |
| ・JA福島中央会 | 遊佐 正広 氏 |
| ・新婦人福島県本部 | 井上 裕子 氏 |
| ・農協労連 | 紺野 茂美 氏 |
| ・生業裁判原告団 | 服部 浩之 氏 |
| ・全国農民連 | 笹渡 義夫 氏 |

農民連フラッシュflash

笑顔と豊かさを感じる収穫祭

12月2日「2017新婦人・農民連産直収穫祭」が福島市鳥川集会所で開かれ、60人が参加しました。寄せ植え体験、人形作り、バザー、餅つきや野菜、果物の即売など多彩な内容に参加者の笑顔があふれました。焼き立てのお餅や温かな汁物を食べながらの交流は食の豊かさを感じるひと時となりました。



9条改憲許さない3000万署名の成功を

12月17日「福島県市民アクション」結成総会が二本松市で開かれました。安倍政権は「新たに憲法9条に自衛隊の存在を書き込む」「2020年に新憲法施行をめざす」と述べ、憲法改悪を強行しようとしています。憲法9条が戦後70年以上海外で日本が戦争をしないで来た大きな抑止力になっていることは明白です。総会では「9条改憲許さない」3000万署名をより広範囲に広げることを確認しました。



青年部の活動、地元の農や食のことをリレーで紹介

若き農業者のつぶやきのーと せいねんぶ農人

全国の農民連青年部の仲間に静岡の茶農家がいる。そこで手揉み保存会による初揉みにお邪魔できた。茶葉を細く、燃れているものにするまで多くの工程を経る。お茶にこんなに手間がかかっているとは。腰は痛い貴重な体験ができた。

by岩淵

